



支部コンクール(7/3)に向け練習が続きます。(6月20日 体育館)

「私、全国大会にいったことがあります。」

以前勤めた学校でのことです。家庭訪問で対応していただいたお母さんが、自身の中学校時代の部活動について話し始めました。吹奏楽部に所属していたというお母さん。大会のことや日々の練習、朝練でリードをくわえ外階段で音を出していたこと、顧問の先生のことなどを懐かしく話されました。

同席していた中1の息子も初めて聞くのでしょう。中学生だったお母さんの姿を想像し、興味深く聞いています。

私自身も50年も前の部活動のことを今でも覚えています。最後の試合のことはもちろん、共に過ごした7人の同級生の顔や、練習で海まで走ったこと、部活を終え話しながら帰ったことなど…。さまざまなシーンが脳裏を巡ります。

今では希望者が参加する部活動ですが、時代をさかのぼると、何かの部活動に生徒全員が参加している中学校がほとんどでした。お父さんやお母さんに中学生時代の部活動について聞いてみてはどうでしょう。とっておきの話が聞けるかもしれませんね。

部活動の思い出

市中体連を終えて(1)

—陸上・野球・ソフト・男子バスケット—

先週金曜日の学年集会で「市中体連報告会」を開催しました。部員がその場に立ち、代表者が前で発表します。その都度、学年生徒から温かい拍手が送られました。

生徒の発表原稿をもとに、大会を終えた生徒の気持ちや、部活動を通して学んだことを紹介します。生徒はそれぞれの思いを胸に、これからの時間を歩み続けていくのでしょうか。



陸上競技部部長 菊池穂孝

今回の中体連での結果は、結希さんが8位に、文徳君が7位に入賞しました。入賞できなかった人もベストを尽くしてきました。

これまでの部活を通して学んだことは仲間の大切さです。部長になって何度か本気で部活をやめたいと思ったことがありました。その時、仲間がいなかったら最後まで続けることができなかつたと思います。陸上部の人達に感謝してもきれないです。

この後にも大会があり出場する予定です。その大会で通信陸上の標準記録を切るのが次の目標です。

ソフトボール部部長 佐藤千尋

私は市中体連を通して「続ける」ことの大切さを学びました。私たちは部活動で「次につながる」ことを意識して練習してきました。バントの構えから打ちにいく「スラップ」や「セーフティー」の練習を毎日繰り返しました。その結果、部員全員の打率や出塁率が上がり、チームの勝利に貢献できたと思います。

今回の大会を通して知ることができた改善点を、これからの練習でしっかり直し、来たる県大会に向けて、次につながるプレーができるようにしていきたいです。

軟式野球部部長 岡田流空

僕たち野球部は、中体連で残念ながら初戦敗退でした。とても悔しい思いをしました。試合の中ではチームが一つとなり、全員で声を出し、励まし合い、最後まで諦めずにプレーできました。この中体連でこのメンバーと野球ができたことは幸せでした。

3年間を通して「仲間」という存在はとても大切だと思いました。何か失敗してしまったとしても、声をかけられると自然に前向きになります。どんな状況であっても諦めずチームが盛り上がっていきます。自分やチームに仲間が影響を与えることはまだまだたくさんあります。これは部活動だけでなく、日常生活にも当てはまることだと思っています。

コロナ感染が落ち着けば、民報杯大会が開催されるかもしれません。野球部は当面それに向けて練習を続けていきます。そこでは絶対勝ちたいと思います。

男子バスケットボール部部長 志賀悠紀

男子バスケットボール部は、草野中と泉中に勝ち第3位という形で大会を終えました。先の選手権で泉中に1点差で負けてからは、次こそは勝つという思いをずっと胸に抱いて練習してきました。そのため、今大会で接戦の末に泉中に勝利できたことはとてもうれしかったです。

今までの部活動や大会を通して、仲間と共に同じ目標に向かっていく姿勢や、あいさつを含めた礼儀の大切さなど、さまざまなことを学びました。そして何よりも印象に残っていることは、「努力は必ず報われる」—このことを自分達で実感できたことです。

部活動を通して学んだことを、次は受験勉強や進路実現のために生かしていきたいと思っています。部活動の仲間はもちろん、クラスメイトや3年生全員で協力し合い、助け合いながら、夢に向かって一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338